

「創大看護学部1期生」の誇りを胸に 生きる力を引き出す看護師へ

創価大学を卒業後、地元
の島根大学医学部附属病院
に就職し、1年目からIC
U病棟に勤務しています。
ICUでは患者さんの少し
の変化が命に関わり、毎日
が悩みや葛藤の連続です。
先日、重篤な患者さんのご
家族からお話しを伺うなか
で、「こんなに素晴らしい
方なのに、なぜこんな病氣
に」と悩むことがありまし
た。看護学部の恩師に話を
聞いてもらい、アドバイス
をもらうなかで、「今いる
使命の舞台で、患者さんと
ご家族の生きる力を引き出
し、励ましを送る慈悲の看
護に徹しよう」と決意でき
ました。卒業して4年が経
ちますが、今も創大看護学
部での学びは続いています。
現在は後輩の育成も担当



椿 青空 さん (看護学部 2017年卒業)

しています。私も1年目は
不甲斐なさに悔し泣きしな
がら帰宅したこともありま
した。コロナ禍で実習もで
きないまま、勇気を持って
医療現場に飛び込んだこと
後輩たちが、自分らしく輝
けるよう、共に成長する思
いでサポートしています。
昨年(2020年)は院
内にある業務分担で私が感
染係のリーダーに。コロナ
流行とは関係なく毎年ある
役目ですが昨年は特別でし
た。通常業務に加えて病棟
の対応マニュアルを作成す
るなど、試行錯誤の繰り返し
でした。感染対策を整え
た経験から本年4月には、
医療が逼迫していた大阪府
に派遣され、2週間現地で
感染重症患者への医療に従
事しました。

悲しむ人を一人でも 少なくしたい

私が看護師を志したのは、
幼いころに妹を病気で亡く
したことがきっかけです。
「悲しむ人を一人でも少な
くしたい」と看護師になる
ことを決めました。しかし、
その頃はまだ創大に看護学
部がなく、創大生の先輩が
目を輝かせて大学生活を語
る姿に、「自分は創大生に
はなれない」と複雑な感情
を抱いていました。そのた
め、高校2年生のとき「看
護学部開設」の知らせを目
にし、喜びが胸がいっぱい
になりました。

私は5人兄弟の長女です。
経済不況で家計も大変でし
たが、両親は私の進学を快
く応援してくれました。苦
手な勉強にも多くの方から
の励ましのお陰で、最後ま
で挑戦でき合格を勝ち取る
ことができました。

入学後は授業、課題、実
習と本当に忙しく、貸与奨
学金も受けながら、家計を
助けるためにアルバイトも
しました。牧口基金会奨学
金と創大給付奨学金に採用
していただき、学業に挑戦
できました。

生き方を変えてくれ た原点の創大生活

大学2年生の頃、友人と
の考え方の違いやこれから

の自分の生き方について悩
み、ひどく落ち込みました。
勉強も手につかず、投げや
りになり、将来の夢も大学
卒業も諦めそうになってい
ました。ちょうど同じ時期
に、病院での実習の準備が
始まりました。実習を担当
する先生は、普段からとて
もパワフルで、それまでは
正直苦手な先生でした。
私は思い切った、担当の
先生に自分の心境を打ち明
けました。その先生は悩み
から抜け出せないでいた私
を包み込むように励まして
くれ、目標を見失っていた
私に進むべき道を示してく
れました。

誰かのために尽くす喜び、
傷ついた心に寄り添う優し
さを学び、「将来、この先
生のような看護師になりた
い」と心から思いました。
行動するなかで元気になっ
ていく自分に気付き、私の
生き方は180度変わって
いました。

創大に進学していなかっ
たとしても、私は看護師に
なり、今と同じ病院で勤務
していたかもしれません。
しかし、私自身の生き方、
患者さんへの接し方、人の
命と向き合う姿勢は全く異
なっていたと思います。

今もなお困難な状況が続
き多忙な毎日ですが、白衣
に着替えるたびに、私は原
点に立ち返ります。病院の
ロッカーに掲げた「創大看

創大Days

椿さんのコロナ禍での奮闘の様子など
もっと詳しく知りたい方は
創価大学ホームページをご覧ください



護学部指針」には、私の創
大生活のすべてが詰まっ
ています。遠くから支え続け
てくれた両親への感謝。一
緒に笑い、頑張り、励まし
あった友人たちとの思い出、
悩み落ち込んだ日々と、そ
こから立ち上がらせてもら
えたこと。
そして指針には、今の悩
み乗り越える鍵があり、
心から目指したいと思える
将来の姿が示されています。
「創大看護学部1期生」
の誇りを胸に、どんな場所
でも真っ先に、まっすぐに
伸び、他の植物を守り育む
白樺の木のように、生きる
力を引き出す看護を実践し
ていきます。

お問い合わせ先

創価大学 学生課 奨学金係

☎ 042-691-2161

FAX 042-691-9475

平日/9:00~17:00 (土・日・祝日除く)

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236



syougakukin@soka.ac.jp



★奨学金の情報は本学ホームページにて詳細を公開しています。情報は今後更新される場合がありますので、必ずご確認ください。

▲本学奨学金ホームページ